

【教育実践報告】

平成30年度園芸班 活動報告

井上広大¹・山路利英¹・有山浩司²・園芸班・飛田有支³・浅田真一³

はじめに

園芸班は農学部の有志学生が集う学部公認団体である。平成30年度は12年目となる。

平成30年度の園芸班の活動

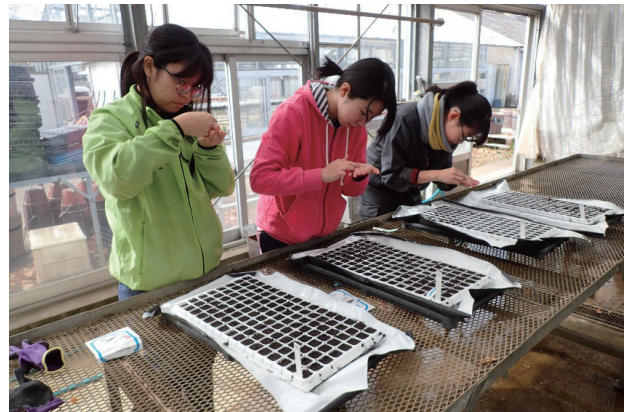
平成30年度は、下記に示すような活動をしながら野菜、花などの栽培に力を入れてきた。

平成30年度の主な活動

- 5/14 中学年（5年生）「稲作の学習」の補助
- 8/3 流しそうめん（新入生歓迎会）
- 8/5 オープンキャンパスでケイトウとオジギソウを配布
- 8/22 メロンアイス作り（生産加工班と連携）
- 11/10, 11 収穫祭で展示発表および野菜販売
- 12/11 幼稚部「キウイフルーツの収穫体験」の補助
- 2/28 芋煮会

① 学内の美化活動

学内美化のためにスカシユリ、ジニア、パンジーなど季節の花の栽培を行った。花苗は学内農場内の温室で栽培し、灌水、間引き、鉢上げなどの管理作業を適宜行った。学内を常に美しく彩るために、プランターや花壇に定植した花は、定期的に交換した。



セルトレイに花の播種



花の鉢上げ

¹ 玉川大学農学部環境農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

² 玉川大学農学部生産農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

³ 玉川大学農学部生産農学科 東京都町田市玉川学園6-1-1

② K-12（中学5年生）「稲作の学習」の補助

中学年（5年生）の「稲作の学習」にて、播種、田植え、稲刈り、脱穀、粃すり、精米の補助を行った。活動中は、中学年生達に稲作について知識を深めてもらうため、分かりやすく説明できるように心掛けた。説明をすることによって、学んだことの復習になると共にさらに理解を深めることができた。また、体験の待ち時間には学内農場の見学を行い、他の作物との違いを伝えた。



種籾の播種作業の補助

③ オープンキャンパスへの参加

8月のオープンキャンパス時に、ケイトウとオジギソウの配布を6号館前で行った。ケイトウとオジギソウは、2か月前から100粒ずつ播種を行い、順調に生育した合計100株を配布した。管理中はダニなどの病害虫を定期的に防除した。当日は、オープンキャンパスの来校者に農学部を魅力を知っていただくため、より丁寧な対応を心掛けた。



ケイトウとオジギソウの配布準備



田植え作業の補助



来校者へ花の配布

④ 生産加工班との連携活動

生産加工班と協力し、園芸班で栽培したメロンを材料に、メロンシャーベットとメロンアイスの試作を行った。日頃はできない、食品を扱う上での衛生管理やアイスの加工技術について学ぶことができた。



アイスについての説明

⑤ 収穫祭

収穫祭の期間中に6号館での展示と野菜販売を行った。展示では、時期を合わせて栽培したマリーゴールドやビオラを使用したフォトスポットをメインで展示し、その他、カボチャの重さ当てクイズなどを行った。野菜販売では自分たちで考えたレシピも配布した。来園者に対して活動で得た知識を分かりやすく伝えることを心掛けて説明した。



生産した野菜の販売



試作したアイスを試食



実物展示による活動報告